

**秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖における協議会
漁業影響調査検討委員会（第４回）**

○日時

令和８年８月２４日（月） １４時００分～１５時００分

○場所

秋田県庁第二庁舎３階３１会議室
（一部の構成員等はＷＥＢ会議形式にて参加）

○参加者

秋田県産業労働部クリーンエネルギー産業振興課 花方政策監
秋田県農林水産部水産漁港課 藤田政策監
男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社
佐々木プロジェクトダイレクター
男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社
許認可・渉外チーム 丸川マネージャー
男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社
許認可・渉外チーム 縄野
秋田県漁業協同組合 清野 代表理事組合長
秋田県漁業協同組合 今野 船川地区運営委員長
秋田県漁業協同組合 伊藤 天王地区運営委員長
秋田県漁業協同組合 児玉 天王地区運営委員
秋田県漁業協同組合 山田 脇本地区運営委員長
秋田県内水面漁業協同組合連合会 村上 副会長
雄物川水系サクラマス協議会 渡部 会長
秋田県鮭鱒増殖協会 須田 会長
八郎湖増殖漁業協同組合 菅原代表理事組合長
公益財団法人海洋生物環境研究所中央研究所 島 参与
経済産業省資源エネルギー庁新エネルギー課風力政策室
佐藤 係長（※）
国土交通省港湾局海洋・環境課海洋利用調査センター
竹吉 専門官（※）
男鹿市観光文化スポーツ部男鹿まるごと売込課 加賀 主査（※）
潟上市総務部企画政策課 畠山 主事（※）
秋田市新エネルギー産業推進室 伊藤 副参事（※）
（※ オブザーバー）

○議題

(1) 2025 年度漁業影響調査結果及び今後の調査計画の変更点について

- 男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社より資料 3 及び資料 4 について説明。

○質疑・応答

秋田県鮭鱒増殖協会

- 2027 年度の工事開始時期はいつ頃か。サケの稚魚が降海・通過する 4 月上旬頃と重なるが、水深 10m 以上の沖合であれば影響はないか。

男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社（事務局）

- 洋上工事は 2027 年 4 月上旬からの開始を予定している。来年の工事期間中もサケに関する調査をしっかりと実施し、その結果を本検討委員会場で報告する。

公益財団法人海洋生物環境研究所中央研究所

- 操業位置データの精度が高く、工事中も全項目調査を継続することは非常に評価できる。工事中に一部ずらした調査地点は、建設後（稼働後）には元の位置に戻すという認識でよい。

男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社（事務局）

- その通りである。稼働後は元の調査地点に戻してデータを取得する。

雄物川水系サクラマス協議会

- 聞き取りなどの操業調査について、2027 年度以降の工事中や稼働後も継続して実施するのか。

男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社（事務局）

- ビフォーアフターを適切に比較するため、稼働後も 3 年間にわたり同様の聞き取り・操業調査を継続して実施する。

秋田県漁業協同組合

- プランクトン調査のデータにおいて、近年問題となっている「アオコ」はどこに分類されているのか。風車設置前後のアオコ発生の有無を問われた際に確認しておきたい。

男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社（事務局）

- 資料３の４３ページの「ハプト植物（ピンク色の凡例）」に分類されている。アオコが発生した際には、このハプト植物の割合が増加する関係性にある。

○今後の検討委員会の進め方

秋田県産業労働部クリーンエネルギー産業振興課（事務局）

- 本日は２０２５年度の漁業影響調査の結果について、ご確認いただいた。
- 次回の検討委員会は、工事前調査２年目の調査結果として、２０２７年夏頃に開催させていただく予定である。

以上